

あすなろだより 7・8月号

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会

担当 1年3組 2年2組、3組、6組



○介護サポーター養成講座

あすなろ会は、8月4日(火)午後、本校で開催した介護サポーター養成講座（公共社団法人広島市老人福祉施設連盟主催）に参加しました。

広島市老人福祉施設連盟の根波様に進行していただきながら、社団法人 双樹会 陽光の家 介護リーダー 山崎様より、現在の高齢者の現状や介護する上で大切なことについて、簡単な実習を交え学びました。また、社会福祉法人 慈光会 特別養護老人ホーム 石内慈光園 総務部長 大城様により認知症について講義を受け、超高齢社会に向けどのように高齢者の方と関わればよいか学びました。今回は、感染症の影響もあり、車いすなどを使った移動介助方法の実技体験はできませんでしたが、最後に、講座に参加したあすなろ部員 16 名全員が認定賞をもらいました。



ひろしま介護サポーター養成講座とは？

広島市では、高齢者人口が年々増加しており、とりわけ団塊の世代が全て 75 歳以上となる 2025 年以降は、介護が必要な高齢者への支援に対するニーズが増加する一方で、支え手となる人が大幅に不足する見込みです。こうした中、介護が必要な方が安心して生活できるよう、地域の中でこうした方のサポートを行っていただく担い手を増やしていくことが必要です。そこで、介護が必要な方の特性を理解し、基礎的な知識と技術を学ぶことで、日常生活や職場の中で介護の必要な方やその家族のサポートができる「ひろしま介護サポーター」を養成する講座を開催しています。 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/kaigo/2573.html> より

参加した人の感想

- ・高齢者の方や認知症の方が普段何を思い考え、行動しているのかを知ることができました。高齢者の方や認知症の方たちと接するときには、相手のすべての行動を規制したり、代わりにしてあげるのではなく、相手のできることは自分でしてもらい、相手の自尊心を尊重して接することが大切だと思いました。実際に高齢者体験をしてみて、腰が痛かったり、視界が狭かったり、ぼやけたり、足腰が重く曲げにくかったりと大変なことがたくさんあるし、視界が狭く、周りや足元が見えなくて危険なので、周りの人たちが助けたり、声をかけたりすることが大切だと思いました。
- ・認知症の方々の言動には不安、環境、理解されないなどの要因があることが分かりました。
- ・認知症の人は関わりにくいイメージがありましたが、きちんとした対応をすると高齢者の方にも安心感を与えることができると思いました。

○家庭科室近辺の掃除

7月3日の放課後にB棟、C棟3階の家庭科や化学、物理教室前廊下を清掃しました。普段の掃除時には、時間が足りずできにくい窓の棧や教官室の扉の埃など重点的に行いました。外部に出かけるボランティアが出来ないので、今後もオープンスクール前の清掃など自発的に校内での活動を続けていきたいと思えます。

○校内清掃ボランティア募集

- 日 程： 9月3日（木） 16：00～16：50
場 所： 講堂、正門付近、メモリアルロードなど
内 容： 清掃活動

当日、15時50分に講堂2階入り口に、清掃活動ができる服装で集合してください。



きりとり

9月3日(木)校内清掃ボランティア参加申込書

【8月27日（木）放課後締め切り 家庭科まで】

※申込者は9月3日(木)放課後15時50分に講堂2階入り口に、清掃活動ができる服装で集合してください。

年 組 番 名前
